

安城学園高等学校 同窓会会則

2022.2.15

■第1章 名称及び事務局

- 第1条 本会の名称を安城学園高等学校同窓会と称する。
- 第2条 本会は、事務局を安城学園高等学校内に置く。

■第2章 目的と事業

- 第3条 本会は、会員相互の連絡と親睦を図るとともに、安城学園高等学校の発展に寄与することを目的とする。
又、安城学園の他の同窓会との交流を行い、親睦を図る。
- 第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
 - 1 会員の互助
 - 2 会員名簿の整理
 - 3 母校が行う事業への協力
 - 4 安城学園の他の同窓会との交流及び親睦
 - 5 その他、本会の目的達成に必要と認められる事業

■第3章 会 員

- 第5条 本会は、次の会員により構成する。
正会員
 - 1 安城学園女子短期大学附属中学校卒業生
 - 2 安城学園女子高等学校卒業生
 - 3 安城学園女子短期大学附属高等学校卒業生
 - 4 安城学園高等学校卒業生特別会員
 - 教職員及び旧教職員

■第4章 役員幹事の選出方法及び任務

- 第6条 本会に次の役員を置く。
 - 1 顧問 若干名
 - 2 会長 1名
 - 3 副会長 若干名
 - 4 事務局長 1名(副会長が兼任)
 - 5 幹事長 1名
 - 6 書記 4名
 - 7 会計 2名
 - 8 監査 2名
 - 9 学外・学内代表幹事 若干名
- 第7条 本会の役員を選出は、次の方法で選出する。
 - 1 顧問は、安城学園理事長、安城学園高等学校長、同窓会役員経験者とする
 - 2 会長は、役員会の推薦によって選出し、総会の承認を得る。
 - 3 副会長は、2項に同じとする。
 - 4 事務局長は、副会長の中から会長の委嘱によって定める。
 - 5 幹事長は、会長の委嘱によって定める。
 - 6 書記は、5項に同じとする。
 - 7 会計は、5項に同じとする。
 - 8 監査は、5項に同じとする。
 - 9 学外・学内幹事は、5項に同じとする。
 - 10 卒業年次ごとの幹事は、同期会員の互選による。

- 第8条 本会の役員、幹事には次の任務がある。
 - 1 顧問は、本会に助言し諮問に応える。
 - 2 会長は、本会を代表し、会務を総括する。
 - 3 副会長は、会長を補佐し、会長不在又は事故ある時はその代理をする。
イ すべての会の議事、資料作成 ロ 会の進行
 - 4 幹事長は、幹事会を掌握し、幹事会を統括し、幹事の意向を役員に計る。
 - 5 事務局長は、各会の事務運営を担当、処理する。
イ 通知文作成等 ロ すべての通信事務の指示
 - 6 書記は、本会の運営上の記録、整理、保管をする。
イ 会員名簿の整理、保管、宛名ラベルの印刷
ロ 各会の議事録作成と保管
ハ 会報の発行等
 - 7 会計は、本会の経理事務を処理する。
 - 8 監査は、会計事務の監査に当たる。
 - 9 幹事は、幹事長の指示により幹事会、総会等の会務を分掌する。
但し、学内の幹事は同窓会行事に積極的に協力する。

- 第9条 役員、学外・学内幹事の任期は、3年とする。但し、再選はさまたげない。
任期中に選ばれた場合は、残任期間とする。

■第5章 会 議

- 第10条 本会の会議は総会、役員会、幹事会とする。
 - 1 総会は、年1回を定例とする。議長は、会長とする。
 - 2 役員会は、年2回を定例とする。但し、会長は、必要に応じて開くことができる。
 - 3 幹事会は、年1回を定例とする。但し、幹事長は、必要に応じて開くことができる。

■第6章 会費及び会計

- 第11条 入会金10,000円とし、会費は必要に応じて徴収する。
- 第12条 会費の徴収は、卒業年次四期の学納金納入時に徴収する。
- 第13条 本会は、入会金、会費をもって運営する。
- 第14条 本会の事業、予算、決算は、総会の承認を得なければならない。
- 第15条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。
- 第16条 本会の資産は、安城学園高等学校同窓会長名で銀行、信金、郵便局で保管する。

■第7章 通信及び事務

- 第17条 総会は、書面・インターネット・新聞広告等で通知する。
- 第18条 会員は、住所、氏名等を変更した場合は、本会に通知すること。

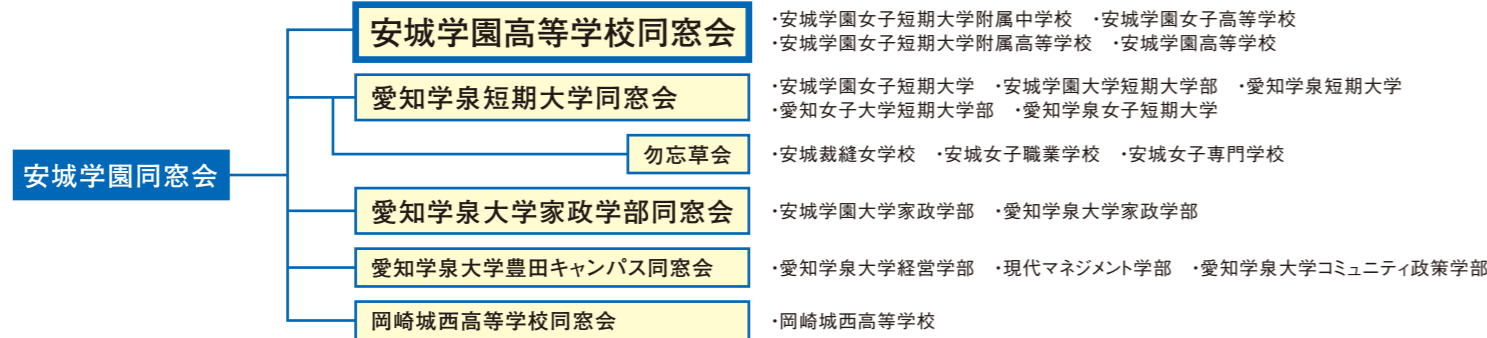
■第8章 支部会について

- 第19条 支部からの要望があれば、地域別の支部会を開催することができる。

■第9章 付 則

- 第20条 本会の慶弔規定は、その都度、役員会で協議する。
- 第21条 本会則の変更は、総会の議決により行うことができる。
 - ・本会則は、平成16年10月24日より実施する。
 - ・本会則は、平成21年9月26日 一部改正。
(但し、第5章 会費 は平成22年度より改正)
 - ・本会則は、平成22年6月12日 一部改正。
 - ・本会則は、平成29年6月3日 一部改正。(6条の9と7条の1)

組織図



安城学園高等学校 同窓会会報



卒業を祝して



卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。そして、皆様と同窓会へ入会して頂きました ことを心より感謝しております。
この同窓会は昭和21年に安城学園同窓会「勿忘草会」として設置されましたが、平成16年に大学、短大、高校の3つに分離独立し、「安城学園高等学校同窓会」として発足し、18回目の入会式を迎えました。現在同窓会の会員は皆様を迎え入れて8,123名、勿忘草会員を含めると36,235名です。本当に長い歴史と伝統を感じさせられます。
本年度も昨年同様、新型コロナウイルス感染の拡大により学校行事の中止や縮小、そして各クラブの大会も無観客戦や中止となり、高校生活最後の活躍の場を満喫できず、悔しい思いをされた方々がたくさんみえることと思います。現在もその影響は大きく、不便な日常生活を強いられています。この規制された状況が一日でも早く収束されるよう願っております。そのためにも私たち一人ひとりがルールを守り責任ある行動を取っていくことが大切

同窓会の発展を願って



生きる意志に満ち溢れた
生きる力に満ち溢れた
生きる歓びに満ち溢れた
人生を送ることができますように!

理事長 寺部 暁

貴同窓会におかれましては益々ご清栄のことと心よりお喜び申し上げます。学校法人安城学園は、現在7つの設置校から成り立っていますが、中でも最も歴史と伝統のある学校が安城学園高等学校です。安城女子職業学校からスタートし、戦後の学制改革の中で女子高等学校に改組され、平成11年度から男女共学校に移行しました。安城学園高等学校が「いまここに」存在しているのはひとえに創立以来入学していただいた卒業生の皆様のお陰であります。
ところで、私立学校とはそもそも何でしょうか?
(1)それは、創立者が存在する学校です。
(2)それは、創立者の志を実現するために教職員が精進している学校です。
(3)それは、在校生が「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を身に付けるために精進している学校です。
(4)それは、卒業生が、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を人生の糧として、社会で活躍している学校です。

これが私の答えです。創立者の志は、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神の実践を通して、経済的に自立できるだけでなく、政治的にも、文化的にも自立できる社会人を育成することによって、地域と国際社会に貢献することでした。この内容は、現代社会でも通用する素晴らしい内容だと思います。そこで、この創立者の志を、現代社会で実現するために、新しい学習モデル「智・徳・体・感・行」に基づいて自ら学ぶ能力・共に学ぶ能力を育成するために教育改革に取り組んでいるところです。

最後に、「学校あつての同窓会、同窓会あつての学校」です。貴同窓会及び会員の皆様の益々のご発展をご祈念申し上げるとともに、なお一層のご指導・ご鞭撻をお願いいたします。

発行日 2022年2月15日
発行所 安城学園高等学校同窓会
〒446-0036
安城市小堤町4-25
TEL.0566-76-5105
FAX.0566-72-2808
[E-mail] info@angaku.jp

「無限の可能性」に誇りと自信を持ってチャレンジしましょう!

安城学園高等学校同窓会
会長 森脇 康代

だと感じております。
私たちは、この伝統ある安城学園高校で「誰もが無限の可能性を持っている」という創立者寺部だい先生のお言葉を胸に、そして「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を心の糧とし、常に目標に向かって前進していくことの大切さを学ばせて頂いております。
私も安城学園で生徒、学生、教員として生活する中で、周囲の人への思いやりと感謝の気持ちを忘れず常にチャレンジ精神で新しい自分を発見していくことの大切さ、そして「誇りと自信」は自分の努力の成果から生まれるということを学び、人として成長しているように感じます。
今後も母校への感謝の気持ちを込めて高校の更なる発展に尽力して参りたいと思います。皆様あつての同窓会です。同窓会の集まりには是非お誘いあわせのうえ参加して頂きたいと思います。
先ずは、令和4年6月4日(土)に開催予定の総会(還暦・成人のお祝い有り)へのご出席をお待ちしております。 但し、状況により中止の可能性もありますので、ご了承ください。



創立110周年の節目に、
母校に足を運んでいただけることを願ひ!

校長 関 神一

令和3年度は、学校法人安城学園にとって創立110年目ではありますが、1年を超える新型コロナ禍のなかで自粛生活を強いられ、同窓会会員の皆様も不安を抱えながら過ごしていらっしゃるのではないのでしょうか。今年も本校は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大とその影響で、3月の修学旅行の中止に始まり、入学式・始業式・終業式等を放送で実施し、6月の体育祭も2年続けて中止にしました。ワクチン接種が進み陽性者が減少し、一日も早くコロナ禍以前の生活に戻ることを願うばかりです。

そんな状況の中、今年も同窓会役員の方々を中心に、クラブ活動の全国大会出場(男女バスケットボール部・男女陸上競技部・ダンス部・弦楽部・吹奏楽部)に対する激励金等、母校に対して多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本校は「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神の実践を通して、家庭と社会に温かい心と新しい息吹を与えることのできる人間を育成することを建学の精神とし、「誰でも無限の可能性を持っている」という創立者の言葉を大切にしながら、生徒及び教職員が日々の様々な活動等に本気で挑戦し、それを全力で応援する学校を目指しています。来年度は、創立110周年という大きな節目を迎える年になります。来年度こそ、新型コロナ感染症を気にせず、同窓会会員の皆様が本校を訪れたいだけの日々が戻って来ることを願っております。今までの同窓会会員の皆様、そして今年、同窓会会員になる386名の皆さんも、これからの人生において、本気で挑戦することを忘れず、「自立することによって、生きる意志と生きる力と生きる喜びに満ち溢れた人生を送ることができる」ことを願っています。今後とも、母校である本校に対し、ご指導・ご鞭撻して頂けることをお願い申し上げます。

同窓生という「輪」

第18回安城学園高等学校同窓会総会、幹事会は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止になりました。令和3年11月20日(土)同窓会役員会にて下記が承認されましたので、ご報告させていただきます。



▲学園祭生徒会長へ協賛金贈呈(同窓会より)

日時 令和3年11月20日(土)
場所 安城学園高等学校
会議室(本館1F)

【総会】

1. 同窓会会長・校長先生あいさつ
2. 110周年 記念行事、記念品について
3. 同窓会入会式について
4. 令和2年度会計報告、令和3年度事業計画
5. その他

安城学園高等学校同窓会・会計報告

～令和2年度事業報告～

- 役員会……………(6月・11月・3月)
- 総会案内発送……………(4月)
- 部活動応援……………(8月→中止)
- 学園祭事業参加……………(9月→中止)
- 文化部定期演奏会鑑賞……………(2月)
- 会報「おもいでぐさ」13号発行……………(2月)
- 令和2年度卒業生同窓会入会式……………(2月)

～令和3年度事業計画案～

- 総会中止案内発送……………(4月)
- 役員会……………(11月・3月)
- 部活動応援……………(8月→中止)
- 学園祭事業参加……………(9月→中止)
- 文化部定期演奏会鑑賞……………(2月)
- 会報「おもいでぐさ」14号発行……………(2月)
- 令和2年度卒業生同窓会入会式……………(2月)



▲令和2年度同窓会入会式



▲学園祭の様子

同窓会役員

幹事

顧問 寺部暁(理事長)、関神一(学校長)、
鶴田紀美子
相談役 佐藤順(教頭)
会長 森脇康代
副会長 藤井京子、瀬戸藤代、
廣中隆一(事務局長)、浅井恵
幹事長 神谷美鈴
書記 石田桂、前田知子、
栞山美鈴、星野訓代
会計 渡辺貴美、榊原ゆり
監査 浅岡多加、大隅千明
学内代表 大久保一代、黒柳多恵子
学外代表 田中愛菜、足立絵理

令和元年度
普1組 平坂ジュリアナゆき
2組 渡辺 優菜
3組 菅沼 歩夏
4組 田口 ゆきな
5組 辻村 乃愛
6組 加藤 丈勝
7組 足立 絵理
8組 田畑 琳香
9組 上村 颯太
10組 佐藤 綺華
11組 田丸 いずみ
商1組 市川 拓海
2組 小原 早智

令和2年度
普1組 森谷 莉来
2組 永井 優花
3組 塚越 彩華
4組 守屋 雅優
5組 古賀 育実
6組 上原 直大
7組 真壁 澄江
8組 岡村 蔵人
9組 武内 菜々美
10組 佐々木 凱成
11組 佐藤 篤樹
商1組 野場 恋華
2組 三浦 夏乃

令和3年度
普1組 宮崎 デイビット
2組 吉田 琉人
3組 鈴木 琉杏
4組 矢野 心絵
5組 岩堀 一星
6組 宮本 大地
7組 犬塚 丈瑠
8組 阿藤 明徳
9組 原田 翔矢
10組 森 悠音
商1組 及川 あすか
2組 鳥居 優奈

※年次幹事は終身幹事です。

懐かしい思い出

浅岡 多加 さん(平成元年度卒)



昨年度より同窓会役員に仲間入りさせて頂くことになりました、浅岡と申します。
高校の思い出と言えば、部活動を怪我で辞めたことがきっかけで、当時関先生(現校長先生)から生徒会話を頂き、課外活動、学園祭企画など、とてもよい経験をさせてもらいました。今となっては懐かしい思い出です。あの頃は、仲間と戯れながら個々の考えや、何をやるか、何をやらなければいけないのかを話し合い、楽しい毎日を過ごしていたのだと思います。
現在、年齢を重ねながら縦と横の人の繋がり、子供達の成長を経験し、同窓会役員をやらせて頂いています。関校長先生をはじめ、諸先生方、学生時代の仲間にとっても感謝です。これからも同窓会OBの皆様、卒業される皆様の今後の更なる活躍を見守って行けたらと思います。

お世話になります

大河内 玲那 さん(平成31年度卒)



私は小学生の頃から幼稚園の先生になりたいと、専門的に学べる子ども教育芸術コースで学び、その後愛知学泉短期大学幼児教育学科を出て現在、ピカピカの1年目として幼稚園で年少の担任として頑張っています。幼稚園では、まだ分からないことや辛いことも沢山ありますが先輩方に教えていただきながら、持ち前の明るさと元気で1日1日を頑張っています。そして、子どもたちの成長を見てやり甲斐を感じ、毎日可愛い子どもたちに囲まれて楽しく過ごせています。学生時代は、部活とプライベートを両立させ楽しい学生生活を送っていました。ハンドボール部では人として大切な挨拶・礼儀・仲間の大切さを学びました。就職先でもここで学んだ挨拶や気づかいが出来ると褒めていただくことがあり、部活で学んだことが役に立っています。皆さん色々な夢があると思いますが、頑張ること・努力することは決して無駄ではないので自分の夢に向けて頑張ってください。応援しています。

卒業生からのたより

母校

栞山 美鈴 さん(平成9年度卒)



私は、今母校で働いています。四大精神である「真心・努力・奉仕・感謝」を胸に、今は教師という立場で、この安城学園で生徒と共に青春を送っています。
新型コロナウイルス感染症対策のため、体育祭・修学旅行が中止になり、授業内容でも様々な制限があったこの2年でした。

学園祭・球技大会では、例年通りやりたいという気持ちを抑えやるべきかどうかの話し合いを何度も重ねてきました。できる工夫をしてみました。全てが我慢・工夫の毎日の中、それでも変わらないのは生徒が持つ強いところと温かいところでした。自分のできることに全力で挑戦し、全力で応援する安城学園ならではの思いです。

日々の変化に柔軟に対応する生徒に毎日刺激をもらっています。安城学園で仕事ができることに感謝し、これからも幸せな青春を送りながら私にできる恩返しをしていきたいと思っています。

「挑戦し続けた3年間」と「今」

神谷 誠 さん(平成26年度卒)



新しい環境に飛び込むワクワク感と、どんな高校生活が待っているのだろうかというドキドキ感を胸に安城学園高等学校に入学したのを鮮明に覚えています。私が入学する年から、国公立・難関私大進学コース(普通科文理I)がスタートするタイミングで入学を決め、学業では大学進学を目標に、部活動ではインターハイ出場を目標に文武両道を目指しました。両者は私にとっての大きな挑戦であり、その目標に向かってひたすらに情熱を燃やした3年間は他では経験し得ない大きな宝物になっています。

今はもはや、教員として母校の教壇に立ち、全力で頑張る生徒を全力で応援する立場にあります。かつて自分がそうであったように、目標に向かって情熱を燃やし続ける生徒を応援できることをとても幸せに感じます。安城学園高校の伝統と歴史が、同窓会を通して続いていきますように。

編集後記

長引くコロナ禍で、歴史と伝統のある安城学園高等学校の卒業生が社会でたくましく羽ばたき、活躍されている姿を誇りに思っています。
ここに会報14号の発行ができましたことに会員の皆様はじめ、安城学園高等学校 理事長様、校長先生の温かいご協力のお陰と、心より感謝申し上げます。
令和3年は、安城学園創立110周年を迎えます。各年度の幹事の皆様を中心に、会員の皆様一人ひとりが創立110年を祝い、会員相互の親睦を図るとともに安城学園高等学校の一層の発展に繋がれることを願っています。
*会員の皆様の住所変更がありましたら、安城学園高等学校同窓会事務局にご連絡下さい。

2022年
同窓会総会案内
2022年6月4日(土)
13:00~14:00 安城学園高等学校
開催について、案内ハガキを発送いたします。
多数のご参加をお待ちしております。